



令和元年度春号 (NO. 35)
 発行：竜丘地域自治会
 編集：地域振興委員会
 問合せ先：(0265) 26-9303

竜丘地域自治会総会が開催されました

竜丘地域自治会では4月22日に総会が行なわれ、平成30年度の事業報告・決算報告が承認されました。また、令和元年度の事業計画・予算についても承認されました。地域の皆さんと力を合わせて、様々な事業を推進していきます。よろしくお願い致します。
 (竜丘地域自治会)

【平成30年度決算 収入総額 38,224,170円】

事業項目	金額
自治会費	16,014,000
交付金及び補助金	10,519,332
太陽光売電収入	100,000
その他	1,595,176
繰越金	9,995,662

【平成31年度(令和元年度)予算 収入総額 41,240,458円】

事業項目	金額
自治会費	15,300,000
交付金及び補助金	11,637,930
太陽光売電収入	100,000
その他	4,443,100
繰越金	9,759,428

【平成30年度決算 支出総額 28,464,742円】

事業項目	金額
総務費	7,756,978
区長会	2,813,098
地域振興委員会	4,608,572
安全委員会	1,596,946
福祉健康委員会	2,812,435
環境委員会	1,843,228
公民館	6,343,759
特別委員会	532,926
予備費	56,800
積立金	100,000

【平成31年度(令和元年度)予算 支出総額 41,240,458円】

事業項目	金額
総務費	8,960,000
区長会	2,940,000
地域振興委員会	5,214,000
安全委員会	1,962,000
福祉健康委員会	3,114,000
環境委員会	2,026,000
公民館	9,744,000
特別委員会	320,000
予備費	6,660,458
積立金	300,000

竜丘地区基本構想 ～前期5カ年の評価～

2014年度に制定された竜丘地区基本構想計画(2030年度迄)は、5年に一度、その時代に合わせた見直しを見込んだ計画になっていることから、基本構想をもとにしながら短期的及び中・長期的な視点で、各分野における重点事項の評価を試みました。2年ごと役員交代はあっても、繋がっている事は幸いな事でした。区長会の例示として、評価基準を以下のようにしてみました。

1 前期5カ年に重点的に取組めたこと、目的達成のために実現出来たこと

①防災関係有識者等の人材登録制度の充実 ②組合加入の促進 ③地域自治会役員基準の見直し

2 現状と今後の課題

①桐林クリーンセンター後利用の検討及び明確化 ②地域自治を進めるための組織強化
 ③災害への備え ④組合加入の促進

3 中期5カ年に向けて目的達成のために取り組むべきこと

①住民自治を進めるための組織強化 ②伝統行事の継承
 ③地区防災計画の策定と防災資機材等の計画の導入 ④空き家情報の把握・情報の共有

各委員会等でも同様に評価抽出を行い、中・長期に向けて有るべき姿を繋げ、ある程度まとめる事ができました。紙面の都合で具体的に書き示すことはできないが、関心をお持ちの方は自治振興センター事務局にお問い合わせいただくことは可能です。

これからも、強い人もやさしい人もつながる世話人を育みながら、将来像である「ロマン溢れる学びの丘 共生のまちづくり」を、地域全体で創造していきましょう。
 (竜丘地域自治会 会長 下平勝熙)



平成29・30年度 各委員会総括 ～二年を振り返って～

◆地域振興委員会 委員長 伊原 聰

「ロマン溢れる学びの丘 共生のまちづくり」を合言葉に、生活道路を中心に市県国等への改良、修繕等の要望活動、竜丘らしい原風景の維持、自然エネルギーの推進等多くの課題に取り組んできました。特に竜丘地区土地利用計画案を皆様のご協力で作成することができました。また、鷲流峡美化推進事業では復活プロジェクトの皆さんや小学生の皆さん、そして、リバーサイド研究会等の方々の協力で環境整備の他、メンマの製造販売等多くの成果をあげることができました。地域振興委員会は、多くの課題を抱えており、役員だけでなく地域の皆さんの絶大な協力なくしては活動できません。二年間、皆様に支えられて活動ができたことに感謝いたします。

今後も、地区基本構想の目標に向かって住み良い竜丘、住んで良かったと思える竜丘地区を目指して、微力ですが、協力させていただきたいと思っております。

◆安全委員会 副委員長 田中 和博

二年間、竜丘地区基本構想を基に、事業活動をして参りました。

成果としては他地区に先駆けた通学路の安全を目的とした「ゾーン30」（速度30km区域）の設置と、安全委員会メンバーだけによる「青パト安全パトロール」の実施等が挙げられます。しかし、スピード超過の車は相変わらず多く、十分な効果を上げることはできませんでした。また、近年増加傾向にある、空き家の安全と防犯活動も大きな課題となって来ております。

新しい安全委員会の皆様には、こうした課題も併せて引継ぎとなりますが、「安全で安心、暮らしやすい地域づくり」を目指し、レベルの高い活動となる様、ご活躍をお祈り申し上げます。

末尾となりましたが、自治会の皆様には活動の最後の最後まで大変お世話になりました。心より御礼申し上げます。

◆福祉健康委員会 委員長 塩澤 隆

各事業にご参加下さいました地区民の皆様、ご協力ありがとうございました。おかげさまで計画しておりました事業をほぼ終えることができました。

福祉健康委員会の主な事業は、各区でのいきいき教室、高齢者交流会等、竜丘地区でのおひとり暮らし交流会、敬老訪問等、地域にとりましては欠かすことのできない事業ばかりです。近年、少子高齢化の波がじわじわと押し寄せ、人口減少、一人暮らし世帯の増加、高齢者世帯主家庭増加と大きな社会問題となっています。ご近所づき合いを大切にしながら、高齢の皆様を地域で守り合う仕組みが必要です。委員会の役割はますます大きくなっていくと思います。

多くの委員の皆様が仕事をもちながらの活動になり、さぞかし無理をしていただいたのではないかと思います。ご協力に感謝申し上げます。各委員長、役員、委員の皆様、二年間大変お世話になりました。

◆環境委員会 委員長 笹岡 健次

日頃は、ごみ出しの分別・不法投棄の通報・各地区でのごみ拾いなど環境美化活動へのご理解とご協力に感謝申し上げます。

平成29年9月、桐林クリーンセンターの30年間の長きにわたるごみの焼却が終了し、下久堅の稲葉クリーンセンターの新しい焼却炉でのごみ焼却が始まりました。飯田市のごみの分別が大きく変わり、回収されないごみがあり少し混乱をしましたが、皆様のご協力によりスムーズに移行できました。ありがとうございました。また、文化祭では分別の相談など、多くの皆様が困っていることを感じました。

竜丘には常習的に不法投棄される所が約12か所あります。環境パトロール員による毎月のパトロールや竜丘クリーン運動なども行っていますが、毎年多くのごみが回収されています。

最後に、皆様のご協力とご指導をいただいて努めてまいりましたが、多くの課題が残っています。新しい環境委員会の皆様には、引き続きの運営と活動をお願いしたいと思います。

2年間、ありがとうございました。

連載シリーズ 第10回 ～ 紹介します ～ 「竜丘古墳の会」



去る5月5日、古墳見学会を開催しました。南信州新聞の記事を見て参加したという区外の方をふくめ、32名の参加がありました。天気も良く、小林正春氏（長野県考古学会 会長）の丁寧な説明もあり、いい見学会だったという声が聞かれました。

竜丘には140基余の古墳、中でも前方後円墳が9基もあります。長野県でも、一番密度の濃い古墳地域です。

平成28年、飯田市内で13基の前方後円墳等（竜丘は6基）が国史跡指定を受けました。これは大変な意味を持っています。時期は5世紀中頃、近畿地方に

あったヤマト王権の前進基地として、馬や兵の供給をしていたのではないかと認定されたということです。しかし残念ながら、これだけの凄い古墳があるのに、関心を示してくれる地区民がきわめて少ないのです。竜丘古墳の会は、この古墳群を何とか後世に引き継いでいきたいという考え方を基本として、活動を続けています。竜丘は実は凄い地域だったんですよ！地域の方にもっと関心を持っていただこうと、見学モデルコースを設定したり、整備に力を入れています。

（竜丘古墳の会 会長 木下和彦）